

山口県がん化学療法チーム研修会開催報告

山口大学医学部附属病院
腫瘍センター事務局

令和7年1月25日(土)に、山口大学医学部附属病院腫瘍センター主催で、山口県がん化学療法チーム研修会『合併症がある患者さんのがん治療について』をWEBで開催しました。本研修は、山口県のがん化学療法の医療レベルの更なる向上を図るために、山口県内のがん診療連携拠点病院を含めた化学療法を行っている医療機関の多職種(医師・薬剤師・看護師・管理栄養士・MSW等)によるチーム研修となっており、8施設(陪席2施設含む)46名の参加がありました。

当院の永野浩昭腫瘍センター長の開会挨拶に始まり、次いで当院の井岡達也副センター長から研修会概要についての説明後、腫瘍センターと緩和ケアセンターの医師の立場からの講義が行われました。

《講義内容》

「各種合併症を有する患者さんの化学療法」

山口大学医学部附属病院 腫瘍センター准教授 井岡 達也

「合併症を有する患者の症状緩和における注意点」

山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター助教 山縣 裕史

各参加施設紹介の後、グループワークの症例提示が、本院の井岡医師からあり、指定された症例について各施設で検討を行いました。多職種で問題点を抽出し、解決策を考え、最後に発表していただきました。研修会全体を通じて様々な意見や質問が活発に出され、参加者の真剣さや意欲の高さを感じることができました。

参加者からは、「新薬のことも含めた症例でとても役に立ちました」、「多職種チームで対応する重要性を改めて認識する良い機会でした」、「他病院での取り組みや症例についての検討内容を知ることが出来て勉強になった」など非常に多くの意見が寄せられました。

令和2年度から年1回開催している研修会で毎年ご好評をいただいております。参加者の皆さまのご協力もあり、大きなトラブルもなく有意義な研修会となり、無事終了することが出来ました。

腫瘍センターでは、これからも医療従事者に向けた様々な研修会を計画していきたいと思っておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

